

ウィーン発! 開花するフレッシュな才能
リサイタルデビュー

Shino Moroto Piano Recital

諸戸詩乃 ピアノリサイタル



プログラム

モーツァルト：ピアノソナタ 第12番 ヘ長調 K.332
Mozart : Sonate für Klavier No.12 F-Dur K.332

シューベルト：4つの即興曲 Op.90, D.899
Schubert : 4 Impromptus Op.90, D899

シューベルト：ピアノソナタ 第13番 イ長調 Op.120, D.664
Schubert : Sonate für Klavier No.13 A-Dur Op.120, D.664

リスト：巡礼の年 第3年 S.163より
Liszt : From Années de pèlerinage Troisième année S.163

第2曲 エステ荘の糸杉に寄せて—哀歌I
No.2 Aux cyprès de la Villa d'Este—Thrénodie I

第4曲 エステ荘の噴水
No.4 Les jeux d'eaux à la Villa d'Este

2011年 3月1日(火)
19:00開演 18:30開場

 浜離宮朝日ホール

(地下鉄「築地市場駅」A2出口朝日新聞社館内)

全席自由：一般：¥3,000 / *学生：¥1,500 (税込)

(*学生券はカメラータトウキョウのみの取り扱い)

チケット取扱：

■ カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

■ イープラス <http://eplus.jp> (パソコン&ケータイ)

■ 東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

■ チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:124-057)

■ Confetti (カンフェティ) 0120-240-540 <http://confetti-web.com/>

主催：朝日新聞社 / カメラータ・トウキョウ

お問合せ：カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

photo by Kosaku Nakagawa

ウィーン発! 開花するフレッシュな才能

Shino Moroto Piano Recital

諸戸詩乃 ピアノリサイタル

たった一つの音から

諸戸詩乃に

谷川俊太郎

十五歳のピアニストは音の庭でモーツァルトとデート
木々が風にそよぎ小鳥たちがさえずり
異国の街の路地裏で子どもが悲鳴をあげ
青空のはるか奥で超新星が爆発する
大昔から世界は音で満ちあふれている

音に年齢がないように音楽にも年齢がない
十五歳のピアニストとモーツァルトは
八分音符と鬼ごっこする
十六分音符とかくれんぼする
全休止符の木陰で音のふるさとに耳をすます

ピアニストはモーツァルトに問いかける
「トレモロのネックレスは誰にあげたの?」
くすくす笑いながらモーツァルトは答える
「数え切れないほどのひとにあげたよ
でも今はきみだけにあげる」

どこかでピアノが待っている
待っているピアノはひっそりと静かだ
まるでいつか見た山奥の湖のように
誰かさんの指がそっと白鍵に触れて
たった一つの音から世界が始まる

(デビューアルバムに寄せて)



photo by Harumasa Misaki

今回、東京で、ソロリサイタルを開くこととなり、大変嬉しく思います。特にシューベルトは、今、私が一番興味をもって研究している作曲家です。そのシューベルトを中心に、ウィーンでの研鑽の成果をお聞かせできることは、このうえもなく幸せなことです。

また、2011年は、リスト生誕200年の記念の年でもあります。オーストリアにゆかりの深いこの作曲家にも、今とても惹かれています。

私のコンサートにおいていただくことによって、ウィーンの音楽の魅力を、より身近なものとして感じていただけましたら幸いです。



諸戸詩乃 (ピアノ)

Shino Moroto, Piano

1993年、名古屋生まれ。桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」にて、國井真美、阿部美果子に師事した後、2003年よりウィーン在住。ウィーン国立音楽演劇大学ピアノ準備科在籍後、2008年、15歳の時、飛び級で同大学ピアノ演奏科入学、エリザベート・ドヴォルザーク=ヴァイスホールに師事。また、ピアノ教育界の国際的権威ハンス・ライグラフに高い評価を受け師事する。2010年からは、ヤン・イラチェック・フォン・アルニンに師事している。他に、マスタークラス等でフリッパ・アントルモン、遠山慶子、ジャン・クロード・ベヌティエにも学んだ。渡欧当初より、研鑽を積みながらウィーンを中心に演奏活動を重ねている。

ウィーンでは、2005年6月のフィガロザールでのソロリサイタルを皮切りに、バーゼンドルファー、シューベルト連盟主催のコンサートなどに多数出演。指揮者ヴォルフガング・ガブリエルとも共演を果たす。2006年、2007年のウィーン芸術週間ではシューベルトティアードに招待され演奏を行う。

2006年からは、イタリア・ボローニャにおいても度々ソロリサイタルを開いている。ボローニャ歌劇場管弦楽団首席メンバーらとも共演し、いずれも好評を博す。

日本でも2007年6月、東京・紀尾井ホールで行われたロイヤルチェンバーオーケストラ第64回定期演奏会(指揮:堤俊作)にて、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番を共演し、高い評価を得る。

2009年11月、カメラータ・トウキョウからデビュー・アルバム『モーツァルト:ピアノ・ソナタ集』をリリース。今後の演奏活動にも注目が集まっている。

リサイタル・デビュー記念盤
デビュー・アルバムから2年。ウィーンで豊かに育まれた才能が今、開花する

シューベルト 楽興の時、 4つの即興曲 作品90 D.899 諸戸詩乃

F.シューベルト: ① 楽興の時 作品94 D.780
② 4つの即興曲 作品90 D.899

諸戸詩乃 (ピアノ)

[CD] CMCD-28232 ¥2,940 (税込)

★発売予定: 2011年2月25日

●発売元: 株式会社カメラータトウキョウ www.camerata.co.jp

瑞々しい才能 諸戸詩乃・15歳 デビュー・アルバム
モーツァルト: ピアノ・ソナタ集

- ① ピアノソナタ 第12番 へ長調 K.332 (300k)
- ② ピアノソナタ 第13番 変ロ長調 K.333 (315c)
- ③ ピアノソナタ 第5番 ト長調 K.283 (189b)
- ④ ロンド 二長調 K.485

諸戸詩乃 (ピアノ)

[CD] CMCD-28188 ¥2,940 (税込) 録音: 2008年12月 / ウィーン

好評
発売中



CAMERATA
またひとつ美しい音、カメラータから。



Photo © Kohsaku Nakagawa